

2012 静岡地区少年少女サッカー 運営の手引き

2012年4月

静岡サッカー協会少年委員会

サッカーは子供たちだけでも、父兄だけでも、指導者だけでも、審判だけでも、役員だけでもできません。皆で、こどもたちの楽しみのために協力しましょう。

* 2012版手引きの留意事項

基本的に前年度までと変わりませんが、あらためて読み返していただき、チーム内で応援に来る父兄すべてに周知をお願いします。

今年も「たくましい子」も目標の一つとしていきます。試合中、簡単に倒れないこと、倒れてもすぐ起き上がること。怪我をした場合でも試合を止めるかどうかは審判が判断することですので、選手がボールをわざと外に蹴りだして試合を止めることのないように徹底してください。

1 大会へのエントリーならびに登録メンバー表

(1) エントリー方法

少年委員会の案内に従って、期限までにメールにて申し込む。

(2) 一つの加盟団体からのエントリーチーム数

すべての大会は、11人制の場合は当該学年が18名以上、8人制の場合は当該学年が12名以上の場合は2チームのエントリーが可能。ただし、県大会に両チームが参加することはできない。

青葉リーグについては、それぞれのチームのメンバー表をエントリー時に提出することはないが、各期のシーズン中に両チームの間で選手を入れ替えることはできない。

(3) 登録メンバー表の提出

少年委員会の案内に従って、期限までにメールにて提出する。

この段階では、背番号と登録番号は不要。

フットサルについては事前の提出は不要。大会ごとの指示に従う。

(4) 登録メンバーの人数

11人制の試合	30名以内とする。
8人制の試合	20名以内とする
フットサル	15名以内とする。

(ただし県大会では規定が異なる。)

(5) 期限後の登録メンバーの変更

複数参加チームは、追加のみ可(両チーム間の入れ替えは不可)。その他のチームは変更可。いずれも大会2日前までに少年委員会にメールで連絡する。この場合、あらためてファイルを添付するのではなく、メールに変更内容のみ記載すること。

ただし、リーグ戦については随時追加登録可とし、出場させたい試合の前日までに少年委員会にメールで連絡する。

なお、プログラムを作成する大会では、期限後の変更、追加は掲載されない。

2 大会の開会式、閉会式

2012年度より開会式及び閉会式の運営方式をあらためて、あらかじめ全チームで担当を分けておくこととした。不明な点は事前に少年委員会役員に確認すること。

具体的な役割としては、本部設営、マイク等の準備、司会進行、表彰の補助、片付け等である。

開会式においては、全ての参加チームはプラカード持参(団旗は自由)、選手はユニフォームあるいはジャージ姿でグラウンドに集合すること(雨天の場合、服装は自由(傘は禁止。))。

開会式を行う大会は、青葉ライオンズクラブリーグ、JC旗、NTTカップ予選、すこやか旗とする。

3 会場の設営、準備、片付け

2009年度より、11人制はすべてスモールピッチ(80m×50m) & スモールゴール(幅5m)で開催。ただし、会場の広さ等により若干縮めることは可とする。

8人制はスモールピッチ(60m×40m) & スモールゴール(幅5m)で開催。ただし、JC旗U12大会のみ、68m×50mにできるだけ近づけて行う。

荒天等により大会や試合を中止する判断は、青葉リーグ戦及びジュニアボーイリーグは幹事が、その他の大会は少年委員会で行います。降雨=中止ではなく、決行することの危険性(雷や川の増水など)とグラウンド状態により判断します。なお、津波注意報・警報、大雨洪水警報が出ている場合は、河川敷及び海岸近くの会場の試合は実施しない。

(1) 学校グラウンドの設営

試合開始1時間前から行う。

コーナーフラッグ、ラインカー、本部などは会場チームが準備する。

(石灰は各チームに割り当てる)

会場準備は、会場チームと第一試合2チームで行う。

片付けは、会場チームと最終試合2チームで行う。

(2) 公共グラウンドの設営

U9～12リーグ戦	会場準備	全チームより最低1名参加すること。	
	石灰	最終試合2チーム	
	コーナフラッグ、ネット等	最終試合組合せ左欄（または上段）チーム	
	ラインカー、メジャー	最終試合直前の試合2チーム	
	組み立て式ゴールの運搬	行きは最終試合の組合せ左欄チーム、帰りは最終試合の組合せ右欄チーム	
	組み立て式ゴールの部品チェック	組み立て時：第1試合両チーム、片付け時：最終試合両チーム	
	組み立て式ゴール関連	<ラージゴールを隠すためのビニールシート&組み立て式ゴール用の重しになるもの> 関係チームの中から少年委員会で指名	
	本部設営	第1試合本部チーム（組合せに明記する。）	
	トーナメント戦	会場準備	全チームより最低1名参加すること。
		会場準備のリーダー	ラインカー、メジャー担当チームのうち、左又は上のチーム
石灰		第1試合2チーム	
コーナフラッグ、ネット等		第1試合主審チーム (コーナフラッグの返却については、第3試合終了時点の残りチームで協議する。)	
ラインカー、メジャー		第2試合2チーム	
組み立て式ゴールの運搬		行きは第1試合主審チーム、帰りは最終試合勝利チーム	
組み立て式ゴールの部品チェック		組み立て時：第1試合両チーム、片付け時：最終試合両チーム	
組み立て式ゴール関連		<ラージゴールを隠すためのビニールシート&組み立て式ゴール用の重しになるもの> 関係チームの中から少年委員会で指名	
本部設営		第1試合本部チーム =第1試合右欄（または下段）チーム	

(3) 学校グラウンドの撤収、グラウンド整備、トイレ清掃

会場チームと最終試合2チーム

(4) 公共グラウンドの撤収、グラウンド整備、トイレ清掃

最終試合2チームが協力し行う。

用具返却とトイレ清掃は、最終試合勝利チーム

(5) 公共グラウンドの用具

中島人工芝	組み立て式ゴールを運搬、コーナフラッグ1セットは倉庫から。
西ヶ谷総合運動場	スモールゴールあり。コーナフラッグ1セットと石灰、ラインカーは倉庫から。
みろく	スモールゴールあり。コーナフラッグ持ち寄り。市よりサッカー協会へ管理委託
安倍口A、B	ネット常設、コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（安倍口sss）
安倍口C	組み立て式ゴールはキッズ委員会のものを使用（安倍口sss管理）、コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（安倍口sss）
安倍口D	組み立て式ゴールを運搬、コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（安倍口sss）
狩野橋ラージ	ネットは技術委員会海野氏宅より借用する。コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（海野氏）
狩野橋8人制	ネットは海野氏宅。コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（海野氏）
辰起町少年	スモールゴールあり。コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（安西sss）
中野新田A	ネット常設、コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（大里西sss）
中野新田B	リーグ戦は会場内のミニゴールを使用。他の大会は、組み立て式ゴールを運搬、コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（大里西sss）
中野新田C（8人制）	ネット常設、コーナフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（大里西sss）
組み立て式ゴールは、No1は海野氏宅、No.2と3は吉杉氏宅（要事前TEL）、キッズは安倍口sssに管理委託中のため安倍口sssに確認	
安西橋下緑地公園はピュアのホームグラウンド扱いとする。（8人制）	

4 大会運営

(1) 本部

U9～12リーグ戦	試合日程に明記。
その他の公式戦	第1試合・・・第1試合右欄（または下段）チーム 後の試合も、その試合の右覧（または下段）チームが本部となる。

(2) 本部の役割

- 第1試合本部は「大会運営書」を持参する。
- 審判員のメンバーチェックを補助する。
- 交代を受け付け、主審または副審に知らせる。
- 交代のつど、メンバー表をチェックする。
- （累積警告や前の試合の退場により、出場停止の選手を確認する）
- 迅速な試合運営を促す。（次試合審判員、チームを準備させる。）
- 試合記録を運営書に記入する。
- 試合中のベンチの指導者等、ピッチ周りの応援等にルール違反があれば注意する。
- 責任を持って次の本部に引き継ぐ
- 試合結果の報告（16：00厳守）

最終試合本部がメールにて16：00までに行う。	
報告先	resultsoccer@yahoo.co.jp
内容	月日、会場、大会名（division） 試合結果（勝者を左欄に書くこと。）（前後半の区別をしない。） 警告、退場者氏名、番号、チーム名、その試合番号 重大だと思われる事故、傷害 報告者氏名、チーム名 （報告書をスキャンした画像ファイルの送付及び添付ファイルでの報告は不可とする。）

(3) 試合前のメンバー表提出

- すべての試合において、「静岡サッカー協会少年委員会試合メンバー表」を使用。
- 毎試合、試合時間の10分前までに本部に一部提出。（相手チームには出さなくてよい。）
- 試合の成立は11人制では7人、8人制では6人とする。人数の規定を満たさなくなった時点で、満たさないチームの0-8での敗戦とする。
- 背番号は試合ごとに異なっても構わない。メンバー表には、試合ごとに選手登録番号と背番号を記入する。なお、選手登録番号が届いていない選手は「登録申請中」と記載すること。

- (4) メンバーチェック
 メンバーチェックは、審判団が行う。先発メンバーのみを試合開始5分前に本部前に集合させ、安全、用具面のチェック、先発メンバーの背番号照合を行う。
 氏名、登録番号の照合は行わなくてよい。
 交代メンバーの安全、用具チェックは、そのつど主審、または副審が行い、本部が補助する。
- (5) 試合におけるベンチ
 本部席左側ベンチに組合せ上欄（または左欄）チームが入る。
 その試合のメンバー表に記名された選手のみが入れる。
 ベンチ内スタッフは3名以内。1名は指導資格保持者または年度内取得予定者であること。
 （指導者は全員、別紙「少年委員会指導者資格規定」により必要な資格を所持すること。）

コーチングはベンチ内の指導資格保持者のうち、**その都度1名のみが許される。**

（同時に二人が声をかけないこと）

コーチングは、選手のプレーに対する否定的言辞を避け、むしろ良い点をほめること。
 （「期待したプレーができないのは指導者の日頃の指導の責任」と受け止めること。）

- (6) 試合前後の挨拶

試合前

- ①試合5分前に、審判団が本部前にてメンバーチェックを行う。
- ②ピッチ内5～10メートルまで入場し、本部に向い整列、あいさつ。
- ③本部からみて右側チームが審判団、相手チーム全員と握手。
- ④左側チームが審判団と握手。
- ⑤キャプテンを残し、コイントス。

試合後

- ①試合終了後、センターラインをはさみ、対面する相手と握手。
 （時間に余裕ある場合、全員と握手してもよい。なお、ベンチの選手も参加してよい。）
- ②選手は自ベンチへ帰る。審判団は退場まで待つ。
（中部支部内の試合においては、相手ベンチへの挨拶をしても構わない。）
- ③審判団は本部へ結果を報告する。

指導者同士も試合前後に挨拶をかわすこと。

- (7) メンバー交代

交代する場合は本部に口頭で申し出る。交代人数は自由。再入場も可能。

リーグ戦においては「SAME CHANCE FOR EACH PLAYER」（別紙）を指導者の努力目標とし、選手の試合出場機会の平等化につとめること。

- (8) 審判

指定する試合（県大会出場がかかる試合など）以外は次のとおりとする。

	互審で行う。	
U9～12リーグ戦	11人制	組合せ左欄（または上段）チームが前半主審。 組合せ右欄（または下段）チームが前半副審（2名）。 後半はその逆。
	8人制	組合せ左欄（または上段）チームが前半主審、後半予備審。 組合せ右欄（または下段）チームが前半予備審、後半主審。
その他の公式戦		リーグ戦は組合せ表に記載。トーナメント戦は下記のとおり
	11人制	第3試合上段（または左欄）チームが第1試合主審。 第3試合下段（または右欄）チームが第4試合主審。 それ以外は敗者チームが次試合の主審。 副審2名は次試合の2チームより1名ずつ。 ただし最終試合副審2名は、直前の試合チームより1名ずつ。
	8人制	主審1名、予備審判1名とする。割り当ては大会ごとに指定する。

審判は本部に審判アドバイザーがいる場合、ハーフタイム、試合終了時にその助言を聞くこと。また、チーム内でもベンチにいた指導者と審判員とで意見交換を行うこと。

特に、リーグ戦については互審で行うことから、正確なジャッジに心がけ、選手やベンチはもちろんのこと、観戦者からも疑問をもたれることのないように気をつけること。具体的には、こどもたちのプレーに対してのアドバイスなど指導者的な態度をとらないように心がけること。

- (9) 警告と退場

退場させられた選手は、次の試合1試合に出場できない。

同一試合内での2度の警告は退場となる。

同一大会内において、累積警告が2度となった選手は、次の1試合に出場できない。

警告、退場はその大会に限り、他の大会に影響しない。

（リーグ戦前期と後期は別大会と考える。）

ただし、悪質な行為は、警告、退場にかかわらず、それ以上の処分の対象となることがある。

- (10) ユニフォーム

相手チームとユニフォームの色が同じ場合（フィールドプレーヤー、ゴールキーパー）は、主審及び本部の指示に従ってどちらかのチームが着替えること。

控えのゴールキーパーがいないチームで、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーと交代する場合、主審、本部にこたわって前のゴールキーパーのユニフォームを着用してよい。

ゴールキーパーのパンツ、ストッキングはフィールドプレーヤーと同じで可とする。

ペナルティキックにより次の試合へ進むチームを決めるとき、フィールドプレイヤーがゴールキーパーをつとめる場合は、フィールドプレイヤーとして出場していた背番号と異なる背番号のゴールキーパー用ユニフォームを着用してよい。

半袖ユニフォームの内側に着る長袖アンダーシャツは、半袖ユニフォームの袖色と異なってもチーム全員が同色のアンダーシャツを着用すれば使用を認める。なお、半袖ユニフォームの袖の主たる色と同色のアンダーシャツを着用する場合は着用していない選手と着用している選手が混じって試合を行うことができる。なお、アンダーショーツについても同様とする。

U9～U12リーグ戦に限り、キーパーのピブス着用を認める。

スポンサーロゴマーク入りユニフォームの使用については、毎年度、日本サッカー協会のユニフォーム規定に沿った手続きをとって承認を受けていれば、4種でも基本的には問題はありません。（この承認を得ていなければ、当然ですがリーグ戦を含む公式戦では一切着用できません）

- (11) 応援

応援は本部席の反対側ピッチサイドより行う。

（中野新田グラウンドについては、土手側は危険なため、本部席側での応援を可とする。ただし、本部席やベンチよりも後ろに位置すること）

応援席からのコーチングならびに審判へのクレームは、指導者、応援者を問わず禁止とする。

5 リーグ戦幹事の役割

幹事に選ばれたあとの手順は次のとおり。

- 1 各チームの連絡先を確認し、雨天中止のときなどに使用する連絡網をつくる
- 2 各チームの選手が関係する登校日を確認する
- 3 少年委員会から送られてくる標準日程を参考に、各節の日程表を作成し、各チーム及び少年委員会にメール送信する（標準日程に掲載しているグラウンドは、原則としてそのまま使用可能）
- 4 登校日等により日程変更がある場合は、関係チームの日程を調整し、グラウンドを確保して、日程表を作成する（代休のある登校日は必ず配慮する。その他の行事の場合も、関係チームが了解すれば変更してもよい。ただし、招待試合や練習試合によるものは不可）
- 5 雨天等によりグラウンドが使用できない可能性がある場合は、グラウンド管理担当者に連絡し、開催の可否を判断し、各チーム及び少年委員会に連絡する
- 6 雨天中止等の場合は、予備日または関係チームの日程を調整し、グラウンドを確保して、日程表を作成する（前期の場合）
- 7 少年委員会から各節ごと送られてくる試合結果及び最終節終了後に送られてくる星取表を確認し、間違いがあれば訂正を連絡する

6 グラウンドの注意事項

当たり前のことですが、常識を持って行動すればトラブルは防げます。子供たちのためにグラウンドを使わせていただくという気持ちを忘れないでください。

ゴミは各チームで持ち帰ること。

すべての駐車車両に「チーム名、所有者名」の表示をすること。

いずれの会場でも、駐車台数に限りがあるので、できるだけ乗り合わせて来ること。

- (1) 中島人工芝グラウンド
道路ではなく必ず駐車場で、選手の乗り降りや荷物の積み下ろしを行うこと。
(駐車場からグラウンドへの通路が整備されました)
- (2) 西ヶ谷総合運動場
プール利用者用駐車場は絶対に使用しないこと。
スパイクでトラックに入らないこと。
競技場を周回するランニングコースで立ち止まったり、座ったりしないこと（特に芝生席の上側）。開会式や試合観戦は、必ず芝生の上で行うこと。
- (3) みろく少年グラウンド
橋直下および**防災道路への駐車及び通行は禁止。通行はグラウンドよりも川側のみです。**
開会式が行われるときは、車両は本通方面から左折すること。
向敷地方面からは、田町グラウンドまたは国道からはいること。
開会式等終了直後は、みろく橋出口は左折のみとすること。
- (4) 安倍口グラウンド
団地内の走行速度は20Kmに制限されているので、走行の際は徐行すること。
各チームの車両は**2台まで荷物車として通行して**、チームテント横に置いて構わないが、残りの車両（ただし各チーム5台まで）は、Aコート南側（入り口右側の駐車場）に駐車すること（**その先は通行もしないこと**）。また、河川敷内の移動通行の際、は最徐行とする。
トイレは簡易トイレを使用すること（使用許可をとれば美和児童館も可能）。
団地内の水道は絶対に使用しないこと（使用許可をとれば美和児童館は可能）。
Aコート南側のグラウンドゴルフ場は立入禁止です。Aコートを使用の場合は、必ずAコート南側ゴール付近に立ち、グラウンドゴルフ場にボールが入らぬようにすること。
- (5) 狩野橋グラウンド（狩野橋8人制グラウンドを含む）
グラウンド堤防側の芝生でボールを使用しないこと（駐車及び休憩のみ可）。
買い物等に行く際は、堤防にある階段を下り、そこから住宅の間を通ること。他人の家の駐車場または庭を横切らないこと。
堤防の上からの観戦は禁止。
- (6) 辰起町少年グラウンド
サッカーグラウンド横のソフト・フットグラウンド及びグラウンドゴルフコース内への立ち入り禁止（テント設営、ウォームアップも不可）。
社会人グラウンドへの立ち入り禁止。
使用トイレはフットグラウンド横の1箇所（終了後、清掃すること）。
緊急避難道路への立ち入り及び駐車禁止。
グラウンド委員会への使用実績報告の為、各チームの参加人数（選手及び保護者）の合計人数（おおよそで構わない）を安西sssに連絡すること。
- (7) 中野新田グラウンド
利用日の朝8時前には入口の鍵（南京錠）は開錠してあり、川上側の鎖（くさり）をボールから解いて中に入る。外した鎖（くさり）は邪魔にならないように隅にまとめておく。
第1試合本部（又は幹事、役員）は、グラウンドの利用のための承認証を大里西sssからFAXで受け取り、次の本部に引き継ぐこと。管理人等から提示を求められたら見せること。当日使用した承認証は後で必ず破棄すること。
「承認証」について、提示を求められたとき提示できない場合がよくあります。今後、このような事がつづく中野新田グラウンドの円滑な利用ができません。各チーム「承認証」の持参について、徹底をすること。
ピッチ周りや防災道路には駐車しないこと。
各チームはトイレの水洗用に水を持参し、トイレの後ろ側にある給水口の蓋を開け、水が満タンに入っているか確認する。少ない場合は水の補充を行う。試合終了後も残った水でトイレの水タンクを補給すること。
試合終了後は、グラウンドのトンボがけを行うこと。トンボは上グラウンドと下グラウンドの間にある。
試合終了後トイレ掃除を行うこと。トイレの中に掃除道具が置いてある。
最後は、車がすべて出た事を確認して入り口の鎖（くさり）をたるまないようにかけること。鍵（南京錠）は、かけない（閉めない）。
- (8) 学校グラウンドその他
定められた駐車台数を厳守すること。特に、遅れて応援に来る車がある場合にも徹底すること。

6 その他の約束事

学校グラウンドが会場の場合は、グラウンド内だけでなく駐車場を含む校内は全面禁煙。学校出入口付近での喫煙も禁止。

公共グラウンドが会場の場合は、ベンチ内、ピッチ周りなど指示や応援の声を出すときは禁煙。その他の場合も喫煙マナーを守る。

学校、公共グラウンドを問わず、車両には所属チーム名と所有者を表示すること。表示のない車の乗り入れを禁止する。

* 上記の注意事項等に違反した場合は、リーグ戦の勝ち点を減ずる等の処分を行うことがある。

* 「手引き」の周知

所属団体は、本手引きをコピーして、運営に携わるスタッフ、ならびに保護者に配付し、説明すること。

また、所属選手にも関係する項目を説明すること。

以上は約束事として2012年4月2日から適用される。
(2012年4月12日改訂)